

## 今週（8月13日から8月16日）の短期金融市場動向

### ●インターバンク市場

今週の無担保コール市場は、積み期間が切り替わる週となったが相場に大きな変化は無く、引き続きビッドサイドの調達ニーズが堅調に見られる展開となった。

無担保コールO/N物の加重平均レートは、週初13日(火)は0.227%、翌14日(水)は0.228%、15日(木)は0.227%となった。16日(金)は、新しい積み期間とった事から、ビッド件数が幾分増加したもののレート水準に影響はなく、概ね横這い圏での取引が中心となった。

ターム物に関しては、ショートタームで0.28~0.30%程度で引合いが散見された。

日銀当座預金残高は、週初542兆円台から始まり、その後は増加傾向となる中、15日(木)の年金定時払い、16日(金)の国債買入オペを受けて、549兆円程度まで増加しての着地見込みとなった。

### ●レポ市場

今週の債券レポGC T/Nは、週を通して0.21~0.24%程度での出合いが中心となり、やや高めのレートで推移する展開となった。

SC個別銘柄では、2Y444~463回、5Y150~171回、10Y355~375回、20Y180~189回、30Y65~83回、40Y13~17回などで引合いが多く見られた。

### ●短国市場

今週の短国市場は、3Mと1Yゾーンが入札を前に水準調整が行われた。

16日(金)に行われた3M物入札は、事前予想に比べ強めの結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでも強含みで推移した。

### ●CP市場

今週のCP発行市場は、鉄鋼、小売等の業態で大型発行が見られたものの、夏季休暇の影響もあり週を通して案件数の少ないマーケットとなった。

市場発行残高は、24兆円台前半での推移となった。

発行レートは、政策金利の引き上げ以降、依然として定まりにくい状況となっており、銘柄や期間により投資家の運用目線にもばらつきが見られた。

### ●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
8/12 (月)						
8/13 (火)	36,232.51	0.840	147.28	0.227	0.224	5,424,800
8/14 (水)	36,442.43	0.805	147.05	0.228	0.230	5,426,000
8/15 (木)	36,726.64	0.834	147.28	0.227	0.227	5,483,200
8/16 (金)	38,062.67	0.870	148.95	0.227	0.230	5,493,800

## 来週（8月19日から8月23日）の短期金融市場動向

### ●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
8/19 (月)	6月の機械受注統計(内閣府 8:50)	TB1Y 32,000億円 8/20発行			
8/20 (火)		20Y 10,000億円 8/21発行			7月のユーロ圏消費者物価指数改定値
8/21 (水)	7月の貿易統計(財務省 8:50)				
8/22 (木)		流動性供給 6,500億円 8/23発行	交付税借入 12,500億円 8/30借入		7月の米中古住宅販売件数 経済政策シンポジウム (ジャクソンホール会議:24日まで)
8/23 (金)	7月の全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)	TB3M 49,000億円 8/26発行			7月の米新築一戸建て販売件数

### ●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
8/19 (月)	500	4,800	5,300	被災地支援 国債補完	▲ 400 18,300	300	18,200	23,500	TB3M発行▲49,000償還58,000 10Y物価連動発行▲2,500
8/20 (火)	500	3,500	4,000				0	4,000	TB1Y発行▲32,000償還33,700 エネルギー借入▲4,500期日6,700
8/21 (水)	▲ 500	▲ 16,000	▲ 16,500	社債買入 全店共通	▲ 8,000	500	▲ 7,500	▲ 24,000	20Y発行▲10,000
8/22 (木)	▲ 500	1,500	1,000				0	1,000	
8/23 (金)	▲ 500	▲ 6,000	▲ 6,500				0	▲ 6,500	流動性供給▲6,000
週間合計	▲ 500	▲ 12,200	▲ 12,700	—	9,900	800	10,700	▲ 2,000	

8/19は日銀予想、8/20以降は当社予想

### ●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続きビッドサイドの資金調達ニーズの強い展開が見込まれる事から、レート水準についても変わらず高値圏での推移が予想される。債券レボGC T/N物のレート水準は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、0.15~0.245%程度の水準で推移することが予想される。短国市場は、19日(月)に1Y物、23日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、夏季休暇明けとなり発行案件がどの程度膨らむか注目される。

主要なイベントは、国内では19日(月)に6月の機械受注統計、23日(金)に7月の全国消費者物価指数(CPI)、海外では、20日(火)に7月のユーロ圏消費者物価指数改定値、22日(木)に経済政策シンポジウム(ジャクソンホール会議:24日まで)、23日(金)に7月の米新築一戸建て販売件数の発表などが予定されている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入